

専門学校進学希望者へ

令和2年5月1日
進路指導部

1. 専門学校進学を考える前に

必ず確認！

- 自分の希望する職業(仕事)は決まっているか？
例) 幼稚園教諭

- その職業(仕事)につくには、どのような資格・免許・知識・技能が必要なのか？
例) 幼稚園教諭免許

- その資格・免許・知識・技能はどのようにしたら取得できるのか？
例) 大学・短大・専門学校で取得できる

- 大学・短大・専門学校のどこでも取得できるのなら、どこを選べばよいのか？
その違いは何なのか？
例) 大学は1種免許、短大・専門学校は2種免許

- 専門学校に進学すると決めたなら、どの学校を選べばよいのか？
例) 千葉県内の〇〇専門学校か東京都内の▲▲専門学校

《知らなかったではすまないこと!!》

▼その1……「専門学校とは？」

法律に定める条件を満たし、都道府県知事から認可を受けた高等教育機関。
認可を受けた学校だけが、「専門学校」を名乗ることができる。

▼その2……「無認可校とは？」

「フリースクール」とか「その他の教育機関」とも呼ばれる。認可を受けていないので、「専門学校」とは名乗れない。

▼その3……「無認可校のデメリットとは？」

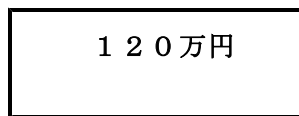
無認可校は、専門学校と比べて、次のようなデメリットがある。

- 通学定期が発行されない(通勤定期になる) 学割がもらえない
- 日本学生支援機構の奨学金の対象にならない 学歴にならない
- 学校が倒産しても、何ら補償がない 大学への編入学ができない

さらに大きな問題点として、「税金」の問題がある。専門学校ならば、授業料収入については非課税だが、無認可校の場合は約40%の税金を納めなければならない。

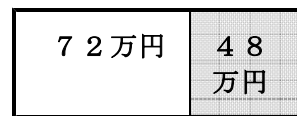
★比較してみよう！（授業料120万円の場合）

【専門学校では】



教育に使える分

【無認可校では】



教育に使える分 税金

2. 専門学校ならば安心か？

専門学校は全国に約2800校、千葉県に85校あります。きちっとした教育を行っている専門学校（職業人を育てたい → 教育機関）もあれば、巧みな学生募集で利益追求に走る専門学校（お金儲けをしたい → 学校屋）もあるのが現状です。

★こんな学生募集（手口）には注意を！

①「高校生を焦らせる」

- ・受験生心理（合否が心配）につけ込む。
※不安にさせ、焦らせて、出願を急がせる。
- ・県内40校の専門学校うち、定員確保できたのは5校のみ。（昨年）
※あとの35校は、3月末まで学生募集をしていました。
- ・AO入試（6月1日からエントリー開始、8月1日から入学手続き開始）を勧めてくる専門学校には注意。
※とくに、入学金や授業料の値引きや特典（AO入試の入学者だけできること）があったら要注意。

※昨年、早く学生募集を締め切った学校の例

- ・千葉調理師専門学校（10月上旬締め切り）
入試は一般受験（面接と作文）のみ。例年、願書受付日には、募集定員を上回る数の願書が送られてきている人気校。
- ・船橋情報ビジネス専門学校・ITエンジニア科4年制（10月上旬締め切り）
大学の通信教育と併修を行う、4年制のITエンジニア科が昨年・一昨年と人気。今年も、その傾向があるので、早めの出願を。

専門学校進学は高い買い物（250万円前後）。焦らず（焦らされず）、じっくりと考えて、十分に納得してから決めましょう。目安としては、夏休み中には、志望校を決定しておきましょう。

②「高校生を囲い込む」

- ・他の専門学校を見せないようにする。
※良識のある専門学校は、他の専門学校も見てから決めるようにアドバイスする。
- ・スタンプカードを配って、何度も来るよう仕向ける。
※説明会に何度か出席すると、高価なお土産がもらえる。結局、高いお土産代は、自分の払う学費から出ていることを忘れずに。
- ・個人の電話番号やアドレスに、説明会などの案内が頻繁に来る。
※個人情報とはできるだけ伝えないように。

③「実際より良いように見せる」

- ・オープンキャンパスでは、魅力あるような見せ方がある。
※オープンキャンパス（説明会・見学会）は、高校生に見てもらうために特別に作られた「イベント」（催し物）。普段の授業を見るのが一番。
- ・就職率や国家試験合格率を、実際より高く見せる
※就職率のカラクリ

$$\text{本当の就職率} = \frac{\text{就職者数}}{\text{卒業生数}} \quad \text{高く見せた就職率} = \frac{\text{就職者数}}{\text{就職希望者数}}$$

※国家試験合格率のカラクリ

合格可能性の低い学生は受験させずに、合格率を上げることができる。

④「学費を安く見せかける」

- ・必要になる費用は、「入学金」と「授業料」だけではない。
※「教材費」、「施設設備費」、「海外研修費」などは、パンフレットに小さい文字で書かれていたりするので、よく確認することが必要。
- ・「特待生制度」の甘い罠
※「特待生制度」を学生募集の手段として乱用するケースもある。特待生の条件・対象人数などを良く確認すること。中退したら、返還請求されることも。

3. 専門学校の選び方

- ①自分が希望している分野の専門学校のパンフレット（学校案内・募集要項）を3校程度集める。
- 学校の特徴
 - 入試方法
 - お金のこと（入学金・授業料など）
 - 取れる資格
 - 就職状況 など
- ②実際に学校に行ってみる。※下調べを入念にしてから行くこと！

- 普段の日に、「学校見学」をする。

 - ・ 在校生の授業や実習の様子（留学生）
 - ・ 通学時間

休日に、「説明会」・「オープンキャンパス」に参加する。

 - ・ 学校の雰囲気
 - ・ 入試情報
 - ・ 体験実習
 - ・ 来年の同級生

- ★注意！**
- ① **少ない定員割れの学校 → 学生が欲しい！**
 - ② **派手な説明会・巧みな説明(AO入試、特待生、学費・入学金の値引きなど)**
 - ③ **しつこい勧誘(電話・メール・ダイレクトメール・訪問など)**

4. 本校の推薦入学希望者の校内選考基準ついて→『進路の手引き』で確認！

- ①推薦入試とは？

【推薦入試】

高校 ←====→ 専門学校

【一般入試・AO入試】

生徒本人 ←====→ 専門学校

※推薦入試とは、高校と専門学校との信頼関係に基づいて行われる入試の方法。学校長が生徒を推薦し、合格した場合は確実に入学することを前提に行われるものである。したがって、合格後の入学辞退はできないので、慎重に選ぶこと。

- ②本校の推薦基準について

- ① 学校長が推薦できる者。
 - ② 希望する大学・短期大学・専門学校等の示す推薦基準に合う者。

※学校見学・体験入学・オープンキャンパス・説明会等に参加することが必要。

5. AO入試に注意！

専門学校の中には、6月1日からAO入試のエントリー（登録）を開始する学校がある。高校生に早く出願させようとする専門学校は注意！推薦受験条件に合わなくて、推薦受験ができない場合には、AO入試を考えても良い。 **※多くの学校は定員割れ**

6. その他

- ・ 学校案内（パンフレット、入学案内）を、各自で早めに請求すること。
- ・ 合格が内定した後にすべきこと。→ 資格の取得（英語検定・漢字検定・簿記検定など）

参考) 進学のエconomics (進学は高い買い物! 無理・無謀・自分勝手はダメ!)

1. 初年度納入金 (平均)

約125万円 (東京都の場合、平成30年度) ※千葉県の場合は、若干安い
参考) 最低: 看護 (96万2千円)、最高: 理学療法・作業療法 (177万7千円)

とにかく、保護者と入学金・授業料の支払いについて(金額と納入時期)について、よく話し合っておくことが、何より大事です! → パンフレット等で事前に調べること。

2. 奨学金を借りる前に (授業料等が安い学校)

①千葉県立の高等技術専門学校

(入校料: 5650円、授業料: 118800円) ※最新の数字は確認のこと

- 旭高等技術専門学校 → 自動車整備科など
- 市原高等技術専門学校 → 自動車整備科など
- 東金高等技術専門学校 → ディ스플레이科など
- 船橋高等技術専門学校 → システム設計科など

②千葉職業能力開発短期大学校

(入校料: 169200円、授業料: 390000円) ※最新の数字は確認のこと

- 千葉校 → 電子技術科など
- 成田校 → 生産技術科など

③タキイ研究農場附属園芸専門学校 (入学金・授業料・寮費・食費無料)

3. 日本学生支援機構の奨学金 (高校在学中に予約しておくのがベスト)

①「給付型」と「貸与型」の2種類

「給付型」はもらえる奨学金。学力と家計の基準があるので注意。

「貸与型」は借りる奨学金。利息がつかない「第一種」と利息がつく「第二種」。

②奨学金の貸与は、専門学校に入学してから。

入学金の支払い (10月下旬前後) には間に合わないので注意。入学を許可されると、年度内に70万円前後の入学金+前期授業料の納入を求められる。

③返済パターンの例

【第二種奨学金 (利子付き)】機関保証 ※詳しくは、日本学生支援機構のHPで。

- 月10万円を2年借りた場合 (240万円)
毎月の返済金額: 16769円×180回 (15年)
- 月8万円を2年借りた場合 (192万円)
毎月の返済額: 15059円×156回 (13年)

⑤よく考えてから申し込むこと ※必ず保護者と相談すること

- ・奨学金 (貸与型) は、あなたが借りる借金です。
- ・進学に必要な金額をすべて奨学金で支払おうとするのはやめましょう。保護者に出してもらえる金額で足りない分を借りるように考えること。
- ・借りられるのは、専門学校に入学してからです。※入学金等の支払いには使えません。
- ・卒業したら、すぐに返済が始まります。
- ・就職が難しい分野 (芸術・芸能など) の専門学校を考えている人は、やめましょう。返済できません。

詳しくは、日本学生支援機構のホームページと厚生労働省のホームページを見ること。

日本学生支援機構: <https://www.jasso.go.jp/>

厚生労働省: <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

4. 国民政策金融公庫の「国の教育ローン」 → 保護者が借りる

- ①入学前に借りることができるので、入学金に充てることが可能
- ②奨学金と異なり、返済がすぐに始まるので注意 (日本学生支援機構の奨学金は卒業後に本人が返済する)
- ③詳しくは、銀行の窓口に置いてあるパンフレット等で確認のこと

